

ケン正木(コミックマジック)

専修大学在学中からステージにたち、数々の舞台で活躍。1995年東京御用にて皇后陛下御遊覧のお祝いのお会に招かれ出演。ステージでは焼やカードを使ったテクニカルなマジック・コミカルなトークマジック・イリュージョンマジック・テーブルマジック等々を得意とする。



已抄呼〜Misako〜(笑う体操)

大阪出身。高校時代は水泳選手として活躍し、卒業後、スイングクラブのコーチに就任。その後、スイングスクール、スポーツクラブの支配人を経て、健康体操研究家、健康アーティストに。なお、笑う体操は2005年に考案された新しいものです。



田淵岩夫(漫談・司会)

桜井長一郎門下の声帯模写芸人としてスタートし、物真似の新境地を開き、人気者になる。その後、司会者としても活躍、マルチタレントして広く知られるようになる。なお、笑いと健康学会のイベントは、彼が司会を担当している。



立川らく朝(健康落語)

杏林大学医学部卒業後、慶応義塾大学医学部内科学教室へ入局。慶応健康相談センター(人間ドック)医長を経て、「表参道福澤タリニク」を開設。その一方で、お役で立川志らく門下に入り、プロの落語家をめざし、昨年真打ち昇進。医師である立場から、健康教育と落語をミックスした「ヘルシートーク」「健康落語」、「健康囃」、「健康一人芝居」という新しい笑いのジャンルを開拓。また9月5日(月)から5回シリーズで説き新聞夕刊「しあわせ小箱」に連載中。



「笑いと健康学会」実施&協力事業

平成28年2月以降の笑いと健康学会の実施事業及び協力事業(イベント)です。

「笑って健康お笑い大行進隊〜笑いと驚きのマジックスペシャル」
平成28年3月5日(土) 流山市民生学習センター
プロデュース 澤田隆治

出演 伊能登志子、ケン正木、ピッツゴーズ、笑組、宮田瑞・昇、青竹ビョーコ、プー子、オシロイ式
主催 流山文化のまちづくり実行委員会
共催 流山市民生学習センター
協力 滝才協会、テレビランド、笑いと健康学会

「笑って健康お笑い大行進隊〜ギャグとコントがいっぱい」
平成28年4月2日(土) 流山市民生学習センター
プロデュース 澤田隆治

出演 増すむ、チャーリー・オシロイ、宇風林火山、キングジョー、真木淳夫、チャンス吉本、浅草笑チーム(お笑い浅草21世紀)
主催 流山文化のまちづくり実行委員会
共催 流山市民生学習センター
協力 滝才協会、テレビランド、笑いと健康学会

「喜劇お笑い2 016 OSAKA」
平成28年5月11(水)〜12日(日) なんばグランド花月
プロデュース 澤田隆治

出演 第1部 吉本新喜劇
第2部 外国人によるパフォーマンス
主催 吉本興業
企画制作 ましもとクリエイティブ・エンタテインメント

「喜劇お笑い2 016 TOKYO」
平成28年6月9(水)〜12日(日) 東京グランドシアター
プロデュース 澤田隆治

出演 第1部 吉本新喜劇
第2部 外国人によるパフォーマンス
主催 吉本興業
企画制作 ましもとクリエイティブ・エンタテインメント

「喜劇映画第2」
平成28年7月15日(金) ハリウッドプラザホール
プロデュース 澤田隆治

出演 「映画と賞洲について」
澤田隆治
…… 中田雄江「おセンチメンツ」著者
上映作品 「日本版おぼろ」(阿部豊監督)
主催 学校法人メイ・ウシヤマ学園 笑いと健康学会

「はばたけ子鳥〜広島原爆と子鳥の生れたわけ〜」
平成28年8月6日(土) 流山市民生学習センター
プロデュース 澤田隆治

出演 渡邊 三智恵知子、渡部・叔父寅
合唱 歌を奏しもうワーケーションの子どもたち
朗読 菅原真代か・ザンレット義子
映画 「子鳥編」(木村匡十監督)
パネル・ポスター展示 「鳥子と子鳥編」
主催 流山文化のまちづくり実行委員会
共催 流山市民生学習センター
企画制作 テレビランド、笑いと健康学会

「笑って健康〜爆笑! 名人劇場2016〜」
平成28年9月4日(日)
プロデュース 澤田隆治

司会 田淵岩夫
出演 増すむ、伊能登志子、ケン正木、アレクセイ玉井、幸助・福助
主催 笑って健康お笑い名人劇場2016委員会
共催 日本喜劇団、北日本放送、笑いと健康学会
後援 荒山徳高同社、高岡市観光協会

「笑いと健康講座」
平成28年9月28日(水) 葛飾区柳橋地区センター
プロデュース 澤田隆治

講師 「笑って健康」 澤田隆治
出演 増すむ、ゴシロキ
主催 葛飾区健康福祉局民衆課

笑いと健康学会

笑いと健康学会事務局

〒一〇六―八五四一

東京都港区六本木六・六四一―一

六本木ヒルズ・ナリウツドプラザ

TEL 〇三・三四〇八・五〇二〇

FAX 〇三・三四〇三・六〇九一

<http://warai-kenko.com>

笑いと健康学会

No.18

2016 9/20

2016年9月20日発行

発行所: 笑いと健康学会事務局

第11回総会 & 研究大会 10月16日に決定

「笑い与健康学会」の第11回総会と研究大会が、平成28年10月16日(日)に開かれることが決まりました。六本木ヒルズ・ハリウッドホールで行われます。会員各位の参加をお待ちしています。なお、詳細は以下の通りです。

日時:平成28年10月16日(日)
 時間:総会 午後1時 研究大会2時30分 懇親会5時30分
 場所:ハリウッドホール

総会 第11回笑い与健康学会総会

- 総会議程 ①活動報告
 ②会計報告
 ③役員の変更について
 ④その他
 (司会)中川登紀子

研究大会

- ①会長挨拶
 ②懇談「エキスパートとの対話・糖尿病と向き合う〜笑いも糖尿病治療のひとつである〜」
 大森安恵(東京女子医大名誉教授・
 海老名総合病院糖尿病センター長)
 澤田隆治(メディアプロデューサー)
 ③臨床研究の報告「なぜ笑いが血糖値を下げるか」
 伊藤俊(海老名総合病院糖尿病センター・
 現相模原赤十字病院内科部長)
 ④「笑う門には福来たる・第一期笑い療法士発表&認定」
 増すすむ、おぼん・こぼん、チャーリー・カンパニー、
 はたのぼる、ケン正木、東京太・ゆめ子、
 巳抄呼(Misako)、田岡岩夫
 ⑤主催挨拶
 山中 祥弘(ハリウッド大学院大学
 メイウシヤマ学理事長・教授)

第11回研究大会

今回の研究大会も盛りだくさん。その内容と講演者のプロフィールをご紹介します。

懇談「エキスパートとの対話・糖尿病と向き合う〜笑いも糖尿病治療のひとつである〜」
 大森安恵(東京女子医大名誉教授・
 海老名総合病院糖尿病センター長)

澤田隆治(メディアプロデューサー)



大森安恵先生



澤田隆治先生

大森安恵先生は高知県安芸市の生まれ。昭和31年東京女子医科大学を卒業。日本の糖尿病と妊娠に関する研究分野を確立した方で、世界でも高く評価されています。平成9年には女性で初めて日本糖尿病学会の会長に就任されました。現在は神奈川県にある海老名総合病院のセンター長を務めています。この大森先生の糖尿病患者のひとりでもある澤田隆治先生が糖尿病の話から笑いが糖尿病に効果があるという話、また東京女子医大の創立者吉岡彌生先生の思い出などをお聞かせします。

臨床研究の報告

「なぜ笑いが血糖値を下げるか」

伊藤俊(海老名総合病院糖尿病センター・

現相模原赤十字病院内科部長)



伊藤俊先生

伊藤俊先生は第4回研究大会(平成21年)に笑いによる血糖値の変化を発表され、笑いは血糖コントロールの一助になると指摘されました。今回は、さらに臨床研究を進め、なぜ笑いが血糖値を下げるのか、その理由を発表します。

「笑う門には福来たる」 第一期笑い療法士発表&認定

笑いが健康に寄与する医学的エビデンス(検証)は本学会が発会した平成18年より医学現場で研究され、現在では広く認められるようになりました。そんな中で、舞台で「笑い与健康」を実践口演している方々に、笑い療法士の称号を認定し、発表いたします。第一期笑い療法士に認定された方々は、本学会の功労者でもあり、笑い与健康を実践している笑いのプロでもあります。

第一期笑い療法士の方々

増すすむ(ギター漫談)

大阪市立田辺中学校卒、中学卒業と同時に漫才師の川上のはるかに師事。物真似に新境地を開き、1970年代に人気お笑い芸人になる。その後、ギター漫談の「な〜んてか」で新しい笑いのジャンルを開拓。現在では「な〜んてか」のネタの数は1500を超える。



おぼん・こぼん(漫才)

大阪府高島商業高校(現・履正社高校)の同級生コンビ。1965年にコンビを結成し学生漫才としてデビュー。演芸場に出演するだけでなく、赤坂コロンブス、日新ミュージックホール公演などにも出演。1980年に日本テレビ「お笑いスター誕生」で10週連続勝ち抜きグランプリを受賞、トップダンサーや楽器を漫才に取り入れるエンターティナー。



東京太・ゆめ子(夫婦漫才)

東京太さんは栃木県真岡市出身。1961年松鶴家千代若・千代菊に入門。1963年に東京二とコンビを結成。東京の人気漫才師になるが、1985年コンビを解消。その後、ピン芸人として漫才や同会をしていたが、1994年福岡県北九州市出身の妻とコンビを結成し、東京太・ゆめ子となりました。相木弁の掛けない京太さんが、奥さんのゆめ子さんにフコつまれ、オチオチするスタイルが絶妙の味をだし、2010年文化庁芸術祭大衆芸能部門大賞を受賞。



チャーリー・カンパニー(コント漫才)

鳥取県出身の日高でんと埼玉県出身の菊地じんのコンビ。コンビ結成は1975年。社会問題や時事問題を扱った風刺コントで人気を博している。



はたのぼる(ベジタブルミュージック漫談)

水道管からゴムホース、野菜(大根、さつまいも、人参)等とあらゆるものを尺八にして演奏する世界でただ一人のベジタブル・ミュージック漫談家。その真歴は古く1951年のコマックバンド「アラット・セブン」を結成したときから。今年で65年になる。1981年イギリス・ロンドンで開催された「一芸名人世界大会」に日本代表として参加し第2位を授賞している。

